

校務改善NEWS

ハイライト:

- 校務推進OJT取組校の紹介1
- 校務推進OJT取組校の紹介2
- プロジェクト方式の取組のポイント

校務推進OJT取組校の紹介1 足立区立梅島小学校 篠達司 校長

「校務分掌組織のプロジェクトチーム化と校務の組織的運営」

まず初めに紹介するのが、足立区立梅島小学校の取組です。梅島小学校では、これまであった三つの部会をプロジェクトチームに移行し、全ての校務をその中に編入、校務の明確化・スリム化を図りました。「教育課程」「学力向上」「健康安全」の各プロジェクトリーダーを経営支援部に組み込み、管理職、事務主事とともに、月一回の会議において、各プロジェクトからの提案や、連絡調整を図り、組織的に校務を遂行しています。

さらに、各プロジェクトと、プロジェクト内の3委員会それぞれに、明確な役割分担表と年間行動計画表を作成し、校務の内容を分かりやすく示していることも、大きな特徴です。

この取組を始めて3年目。各プロジェクトから



三主任会の様子

様々な提案が積極的になされるようになり、課題解決的な組織に変わってきたこと、若手からも仕事の提案がされるようになり、職員全体の経営参画意識が高まったことなど、学校全体が組織化され、活性化しました。

今後は、課題を整理し、組織の連絡体制を強化し、さらに取組を進めていくそうです。

成果

教職員の校務に対する積極性が向上

課題解決型の組織に変貌

1年間同じチームで校務を進めるので
チームワークが向上

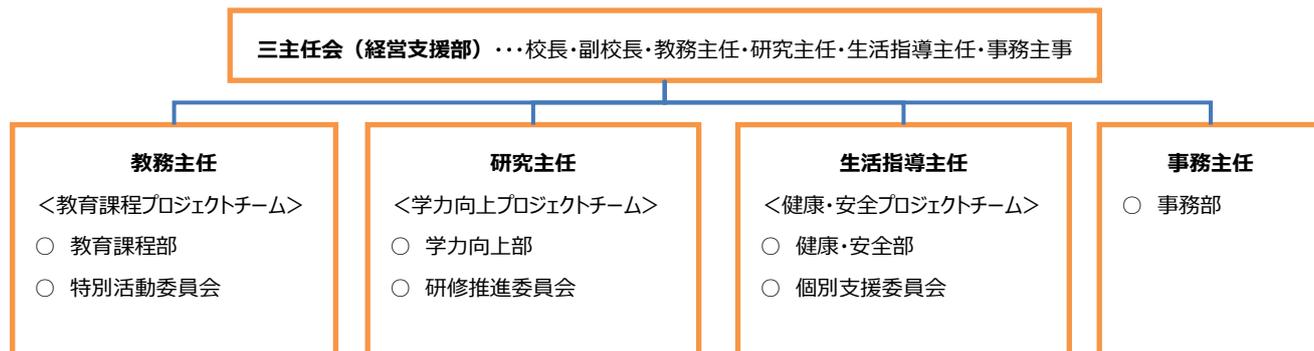
教職員の経営参画意識が向上

3主任だけでなく、若手教員も学校運営力・組織貢献力が向上

校務内容が明確化され、校内ジョブ
ローテーションが容易に

教職員が目的意識をもって校務に取り
組むことで負担感の減少

梅島小学校の組織図（概略）



☆篠校長先生には、事業発表会で事例発表をしていただくことになりました。興味のある方はぜひご参加ください！

校務推進OJT取組校の紹介2 世田谷区立赤堤小学校 吉村 実 校長

「校務推進プロジェクトによる学校環境整備」

次に紹介する学校は、世田谷区立赤堤小学校です。赤堤小では、副校長をトップとした、専任主任、事務主事、用務主事で構成する「校務推進プロジェクト」を立ち上げ、主に学校環境整備の推進を行っています。

プロジェクトチームが中心となり、地域や保護者と連携しながら、ビオトープの整備や開放、屋上緑化の推進、蛍鑑賞会の計画・実施などが行われました。

今後もこの取組によって、教職員の積極性

や地域・保護者からの信頼感等、ますますの向上が期待されます。

成果
自分たちの提案で校務を進めることで教職員の負担感・多忙感が減少
地域・保護者からの信頼感がUP
若手教員の外部折衝力が向上
専任主任教諭をはじめ、教職員の経営参画意識が向上
教職員の校務に対する積極性が向上

☆ 赤堤小の推進プロセス

- ① 毎週月曜日に定例会を実施
- ② 火曜日の夕会で報告
- ③ 取組の実施



ビオトープ開放の様子

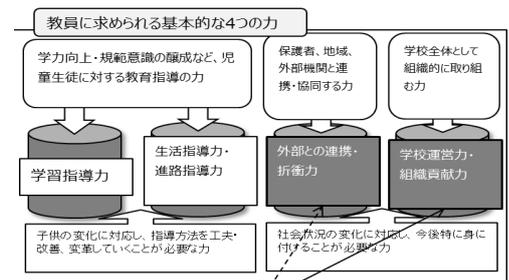
校務推進OJT 取組のポイント

☆ 両校に共通する取組のポイント

- プロジェクトの目的を明確にする
- OJTとしての位置づけを明確にする
- プロジェクトの取組を明確に示す
(分掌図や報告書等で)
- 成果を明確にし、達成感を共有する

☆ 両校に共通する成果

- 教職員が組織的になる
- 受け身の姿勢⇒積極性
- 負担感・多忙感の減少
- 学校運営力・組織貢献力の向上
- 若手教員の人材育成に効果



「校務推進OJT」では、校長の学校経営方針の下、組織的に校務に取り組む経験によって、「学校運営力・組織貢献力」の向上が期待できます。
また、取組によっては、地域や保護者との連携や様々な外部折衝が必要となり、そうした経験をとおして「外部との連携・折衝力」の向上も見られるようになります。
このように、「校務推進OJT」は校務がさらに円滑に進むことに加え、人材育成上の効果も見込まれる取組です。

篠校長先生・吉村校長先生ともに、取組について語る姿がたいへん生き生きとしていて、「学校経営が楽しい。」と、にこやかにお話しされていたのが印象的でした。教職員が生き生きと働く姿、若手教員の成長、地域や保護者からの良い評判・・・さまざまな成果が新たな意欲につながり、それが学校運営をより円滑にしていきます。

校務推進OJTの良さは、そこにあります。

優れた取組等の情報や様々な御意見を是非お寄せください。メールアドレスは、HPにあります。

校務改善ホームページのお知らせ

東京都教育委員会のホームページ下方バナーの→  をクリック!